

Q9 走行中、窓から手や顔を外に出すので、
危なくてしょうがありません。

A 危ないことを、やさしく繰り返し注意してください。

急に声をかけると、その声にかえってびっくりして、
混乱し、思わぬ事故につながる可能性があります。

日ごろからあいさつをするなど、顔なじみになって
おくと注意を聞いてもらいやすくなります。

危険な行為で、何度も続くようであれば、学校や家に
連絡するのも一つの方法です。

乗務員の声

- ◇ 日ごろから利用されているお客様なので、気をつけて
見ている。
- ◇ 危険な行動をする前に制止できるよう心がけている。



家族の声

- ◇ なにかあったときは、わかりやすく注意するということを会議で話し合ってくれた。
- ◇ 危ないことはきちんと注意してほしい。

Q10 迷子になっているようだったので保護したところ、**連絡先**がわからなくて困りました。

また、見たところ知的障害とわかりませんでした。

A 療育手帳を持っていないか尋ねてください。

持っていれば住所等連絡先が記載されています。

衣類やカバンに住所が書いてある場合もあります。

「ぽっぽやプロジェクト」のキーホルダーを身につけていたら、それは、「援助を必要としています、困っていたら助けてください。」というサインです。

それとなく気をつけてください。キーホルダーの裏面には連絡先が書いてあります。

駅員の声

- ◇ 緊急時の連絡先を常に携帯してほしい。
- ◇ 知的障害があると事前にわかっていたら、相手にわかるようにゆっくり話をしたり、確実に話を聞き、安全に乗ってもらうことができた。



利用者の声

- ◇ 介助者料金で改札を通るとき疑われ、「ちゃんと支払ってください！」と厳しく注意された。
- ◇ 乗車の際、上手にカードを入れられなかったときに、せかさずにじっくり見守ってくれ、うれしかった。
- ◇ 車内で奇声をあげたとき、特別視されることもなく気分良く乗車できた。
- ◇ 困ったときは声をかけてほしい
- ◇ 行方不明になったとき、駅員さんがカードを見て、家族に連絡してくれて助かった。

『 交通機関で働くみなさまへ
知的な障害がある人のサポーターになってください！ Q&A』

発行日 : 2005年3月

発行者 : プロテクション・アンド・アドボカシー・大阪(P&A-大阪)

〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町 1-46-4

昭和土地建物ビル2F 辻川法律事務所内

ホームページ <http://www.pa-kpro.com>

表紙デザイン ・ 本文イラスト : 武井陽子

競艇の交付金による日本財団の助成金を受けて実施します



ぽっぽやプロジェクト
P&A 大阪